

プロフィール



オウル大学にて(2019/3)

Matzuk先生と(2019/7)

インタビュー

Q1 現在までの研究内容を教えてください。

神戸大学農学部を卒業後、大阪大学微生物病研究所の岡部先生と伊川先生の研究室で、遺伝子改変マウスを使った受精研究を15年間してきました。2019年からは、これまで培った発生工学技術を買われて国循@大阪にて研究室を主宰しています。現在は、マウスからラットへ手を広げ、ゲノム編集を使って疾患モデル動物を開発・解析して、受精から妊娠・出産までの生命現象を分子で解き明かそうとしています。もちろん共同研究も大歓迎です！

Q2 研究者を志したきっかけは？

1番の理由は、父が(元)研究者だったこと。その次は、学生時代に知ったKOマウスのギャンブル性(表現型アリカナシカ)にどっぷりハマってしまったことですかね。ベタですが、KOマウスの表現型を見つけた時に、世界中で自分しか知らないと思った時は痺れます。これからも大当たりを求めて頑張ります！

Q3 若手研究者へのメッセージ

研究に限らず、自分の世界を広げることをお勧めします。広げるのは興味だけでなく、日本という枠も超えた方が良いでしょうね。もし良かったら、一緒に研究しませんか？

名前	藤原 祥高
所属部署	国立循環器病研究センター 研究所分子生物学部 発生工学研究室
職種	室長
この研究室に入った日	2019/2/1
出身地	大阪府
趣味	ドライブ、旅行、グルメ